



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 夏休み号

平成29年7月20日

校長 藤井恒雄

〇〇する日、夏休み

4月6日に学校生活がスタートして、73日間の1学期が終わりました。この4ヶ月間、子どもたちはいろいろな学習や行事に取り組んできました。保護者・地域の方々のご協力や子どもたち・職員の頑張りにより、本校の教育活動が昨年度以上に充実したものになったと感じています。心より感謝申し上げます。



子どもたちは、この1学期それぞれに成長が見られました。子どもたちの頑張りをおおいに褒めたいと思います。ご家庭におかれましても、「通知表渡し」で学級担任からお聞きになったことをお子様とともに話し合い、良かったことは大いに認め褒め、また、十分でないところは励まし根気よく見守っていただきたいと思います。

さて、いよいよ子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。始まる前は長いと思っても、いつの間にか知らずに過ぎてしまう41日間。それが夏休みなのではないでしょうか。

夏休みは子どもたちにとって1年間の中で大切な節目になる時期であり、2学期の準備期間でもあります。夏休み前と後との子どもたちの顔つきや体つきが大きく変わり、心と体が成長したことを伺うことができます。休み明けの8月31日には「今年の夏休みは〇〇をやったよ。」と目を輝かせて話すことができる夏休みになってくれることを期待しています。そのためにも、夏休みが単に「学校に行かなくていい日」ではなく、規則正しく生活し、「〇〇をする日」「〇〇ができる日」となるよう計画を立てて夏休みを送ってほしいと思います。たとえば「自由研究をする日」「家族旅行に行く日」「いなかのおじいちゃん、おばあちゃんに会える日」「一日中勉強する日」「今日は遊ぶ日」などいっぱい計画をしてほしいと思います。日頃は、時間に追われて慌ただしい生活を送っています。だからこそ時間を贅沢に使って、夏休みにしかできない体験をしてほしいと思います。そして、2学期始業式の日には、児童全員が元気な姿で登校してくれることを願っています。交通事故（今年度に入り津幡町では自転車等との接触事故がありました。幸い命に別状はありませんでした。）・水難事故・災害や不審者など心配なことはたくさんあると思いますが、そういう不幸に合わないためには細心の注意が必要です。気を付けることで危険性は格段に違ってきます。

今日の終業式では「〇〇する日」と「自分の命は自分で守る」話をしましたが、どうかご家庭でも有意義で安全・安心な夏休みになるようご協力をお願いします。



◇事故防止・迷惑行為の禁止◇ 『自分の身は、自分で守る。』

1. 交通事故…自転車、飛び出し、キックボード等

子どもたちの交通事故で最も多いのは、『飛び出し』と『自転車』によるものです。毎年、何件もの交通事故が起っています。多くの原因は、飛び出しによる事故です。交通ルールをしっかりと守ることが命を救います。命や身体の安全を守るためにも十分な注意をお願いします。

自転車の乗り方で危険だと感じた場合は、注意をしたり、乗ることを禁止したりすることも必要です。ヘルメットは万一の場合に頭部を守ってくれます。暑い時期ですが、ヘルメット着用をお願いいたします。

2. 水の事故…海、川、河北潟等へは子ども同士で行かない。

3. 火事…火遊び厳禁。花火は保護者と一緒に。

4. 不審者…知らない人についていけない。…『いか』

- 車、誘いに乗らない。 ……『の』
- 大声を出す。(危険な時) ……『お』
- すぐ逃げる。 ……『す』
- 知らせる。 ……『し』



5. 鉄道事故…鉄道線路に近づかない。非常ボタン等にさわらない。踏切のない線路の横断禁止。

6. 外出…原則、子ども同士で校区外へ行かない。用事がないときは、店に入らない。

7. 迷惑をかける行為の禁止（あかた公園その他公共の場所等）

- …遊具を独占する。石や物を投げる。落書きをする。自動車にさわると。万引き。お金や物（ゲームやカード等）の貸し借り。田畑や空き家に入る。等